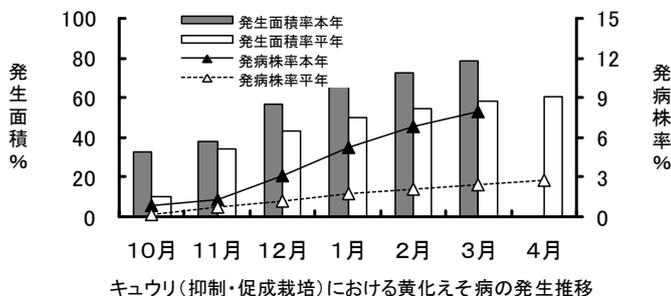


平成24年3月30日

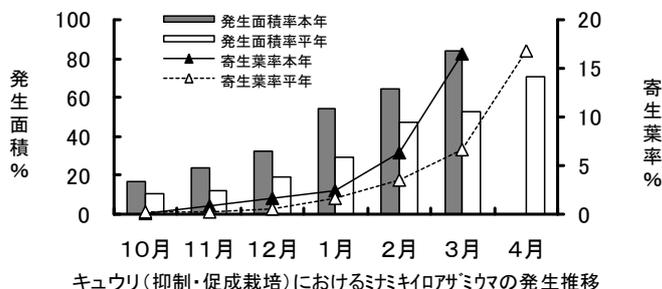
高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)  
野菜類ダイジェスト版

● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

黄化えそ病 発生量: 平年並み



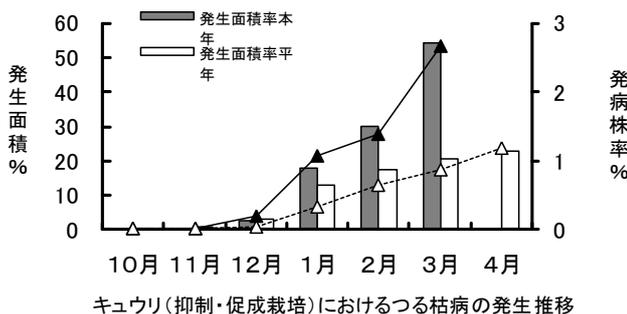
ミナミキイロアザミウマ 発生量: やや多



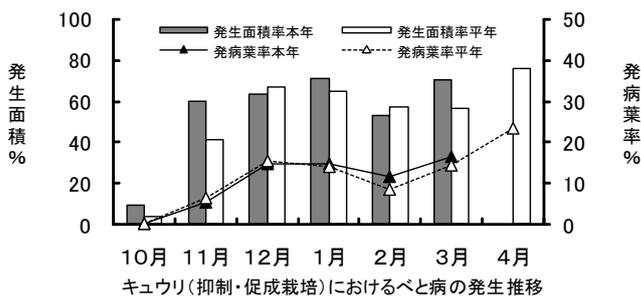
黄化えそ病は県中央部で多発生、県内全域では平年並みの発生となっています。3月には黄化えそ病の注意報を発令しました。今後は気温も徐々に上昇してきます。既発ほ場では、発病株は伝染源となることから早期除去に努め、媒介虫のミナミキイロアザミウマの防除に努めてください。

ミナミキイロアザミウマはやや多い発生となっています。今後は気温も上昇し、発生が急激に増加すると予想されるため、防除の徹底及び丁寧な散布を心がけてください。

つる枯病 発生量: 多



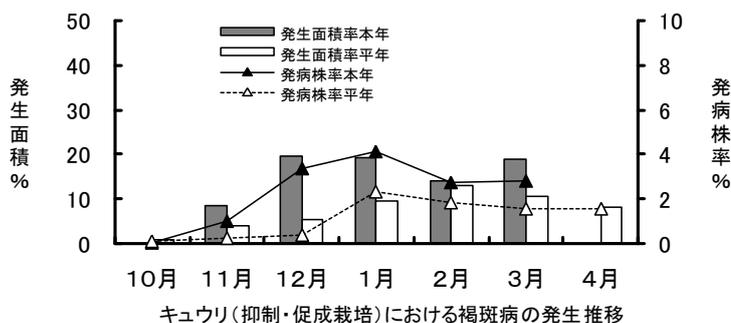
べと病 発生量: 平年並



つる枯病は、全体的に多発生となっています。向こう1ヶ月予報では、気温は高く、晴れの日が多いと見込まれ、ほ場内が高温多湿条件になると、多発生で推移すると思われます。早期発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

べと病は平年並の発生となっています。今後も、平年を超えるような大きな増加はないと思われませんが、蔓延すると、薬剤散布による防除は困難となりますので、早めに発見して防除を行うとともに、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

褐斑病 発生量: やや多



褐斑病はやや多い発生となっています。本病は、蔓延後の薬剤散布による防除は困難となりますので、早めに発見し、適正な温湿度及び肥培管理により草勢の維持を図ってください。

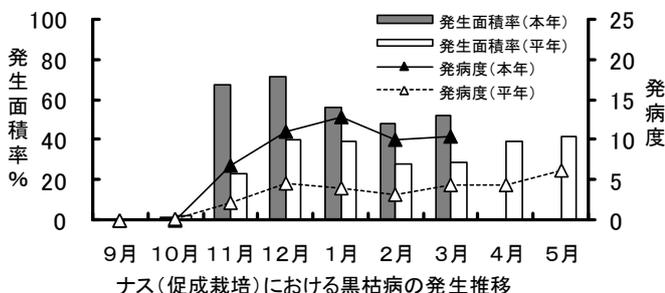
向こう1ヶ月予報では、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多いと見込まれ、ほ場内が高温多湿条件になると、病害が急激に伸展する可能性があると思われますので現在の発生状況から注意が必要です。

平成24年3月30日

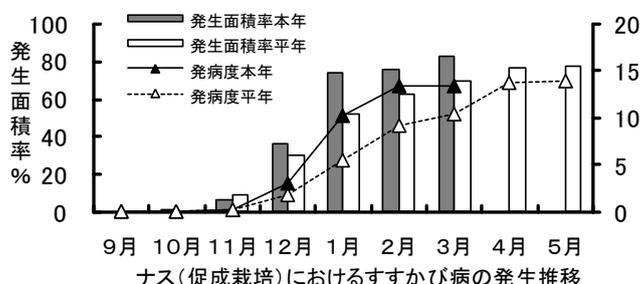
高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月)  
野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部・中央部・西部)

黒枯病 発生量:多

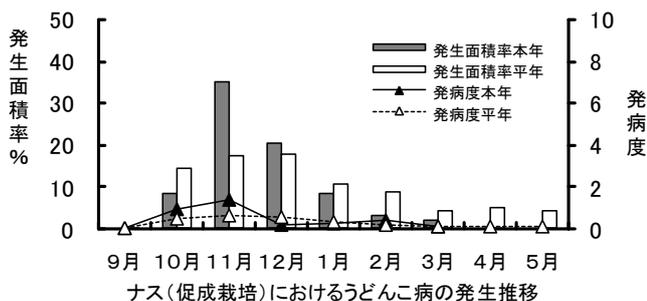


すすかび病 発生量:平年並

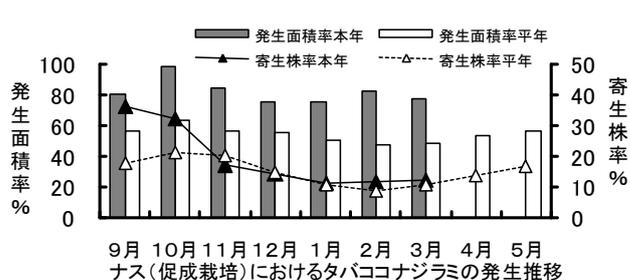


黒枯病は県東部、中央部で多発生となり、発生程度も高いです。すすかび病は平年並ですが、先月より発生程度が高まっています。両病害ともに蔓延すると防除困難となるので初期防除に努めてください。また、急激な温湿度及び肥培管理は草勢低下を招き、病勢を進展させるので避けましょう。

うどんこ病 発生量:少



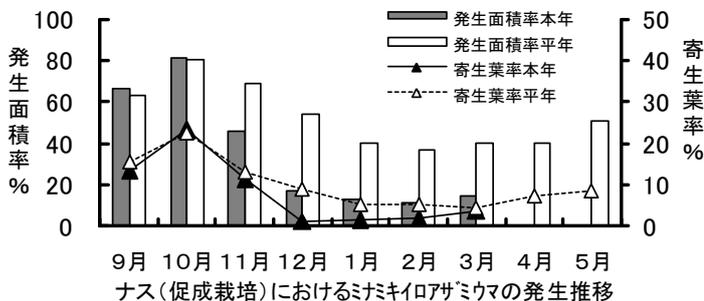
タバココナジラミ 発生量:やや多



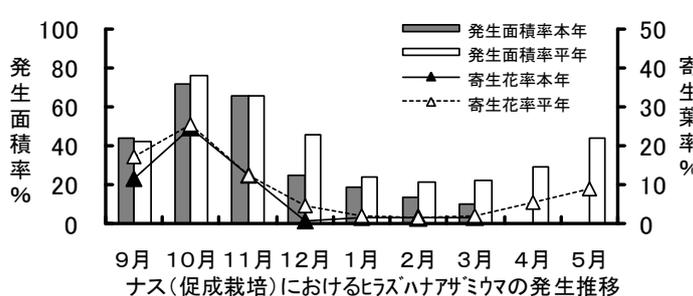
うどんこ病は先月から引き続き発生面積は少なく、県中央部ではやや多発生ですが、他の地域では少なめの発生で推移しています。ハウス内の温度上昇に伴って病勢を助長することがないよう、適度な温湿度管理と草勢の維持に努めてください。

タバココナジラミは、県東部発生面積がやや多く、寄生株率も高くなっています。天敵導入ハウスで発生が多くなる場合には、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除などが必要な場合があります。

ミナミキイロアザミウマ 発生量:少



ヒラズハナアザミウマ 発生量:少



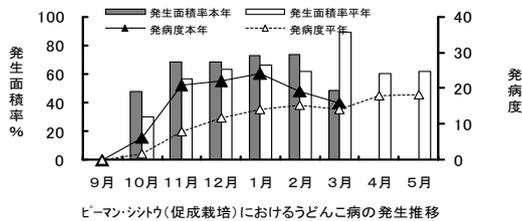
アザミウマ類は先月に引き続き、発生面積・程度ともに平年より少ない発生となりました。主なナス産地である県東部を中心に、天敵により寄生密度を低く抑えています。ミナミキイロアザミウマが発生しているほ場では、ハウス内の温度上昇に伴って果実被害の増加が懸念されます。薬剤防除にあたっては、感受性低下を防ぐために同一薬剤及び同系統の薬剤の連用は避け、丁寧な散布を心がけてください。

平成24年3月30日

## 高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月) 野菜類ダイジェスト版

### ● 促成ピーマン(東部・中央部・中西部)

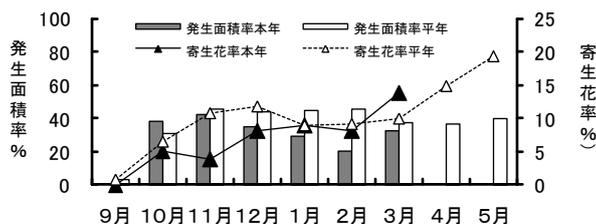
**うどんこ病 発生量:少**



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

県東部の平年並以外は、全般に少発生となっています。今後は特に発生が助長される気象条件とはならないと考えられますが、平年並みの発生を想定して、特に硫黄くん煙処理を行っていないハウスでは、予防散布及び初期防除に努めてください。

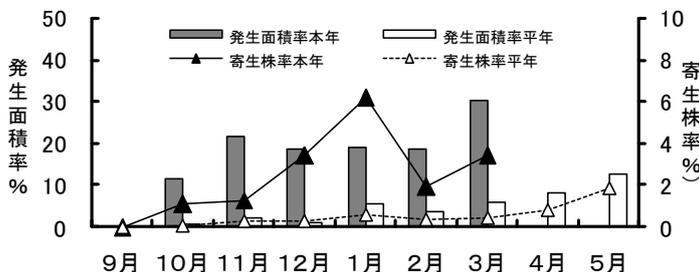
**ミナキイロアザミウマ 発生量:平年並**



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるミナキイロアザミウマの発生推移

全般的に平年並み発生ですが、気温の上昇とともに寄生密度は高くなってきています。今後の発生に注意し、初期防除を徹底するとともに、薬剤のローテーションを行い抵抗性の発達を回避してください。なお、天敵導入の場合は天敵への影響を十分考慮して使用薬剤を選定してください。

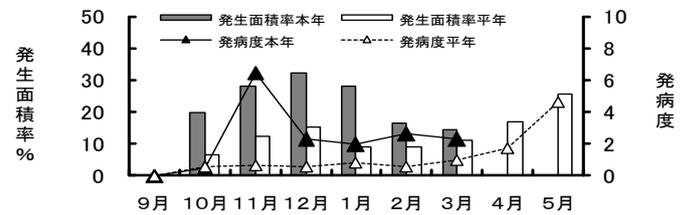
**コナカイガラムシ類 発生量:多**



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるカイガラムシ類の発生推移

県中央部で発生が多く、全体でも面積、寄生株率ともに高い水準です。密度が高くなると防除が困難となりますので、低密度時からの対策に心がけてください。常発傾向にある天敵導入ハウスでは、本虫に有効な天敵の導入も検討してください。

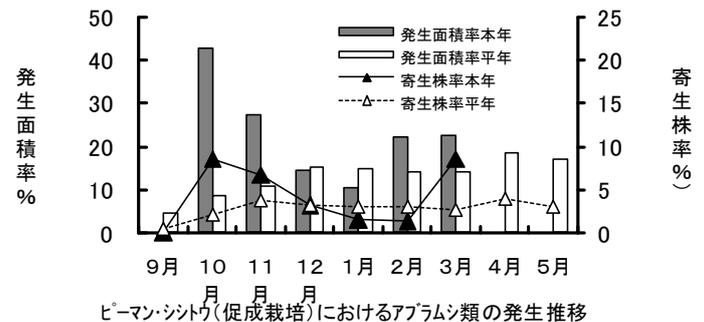
**黒枯病 発生量:平年並**



ピーマン・シトウ(促成栽培)における黒枯病の発生推移

先月よりは沈静化してきておりますが、斑点病が併発しているハウスも多く見受けられます。蔓延すると防除が困難になるので、予防散布及び初期防除に努めてください。なお、薬剤のローテーションを行い抵抗性の発達を回避してください。

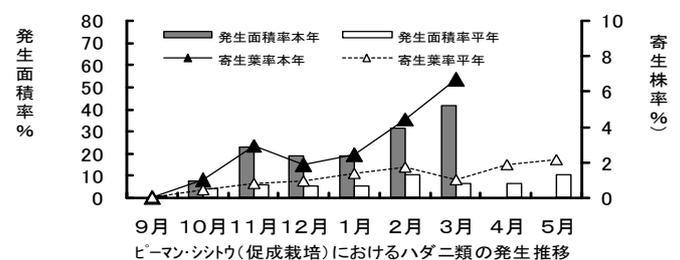
**アブラムシ 発生量:やや多**



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるアブラムシ類の発生推移

県東部では多発生、全般的にもやや多発傾向にあります。密度が高くなると防除が困難となりますので、低密度時からの防除に心がけてください。天敵導入ハウスでは、ヒゲナガアブラムシ類の発生に注意しましょう。発生の場合は天敵に影響の少ない農薬を選定しましょう。

**ハダニ類 発生量:多**



ピーマン・シトウ(促成栽培)におけるハダニ類の発生推移

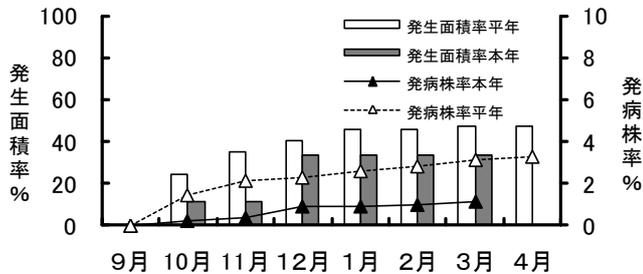
県東部と中央部で発生が多く、全体でも面積、寄生株率ともに非常に高い水準です。密度が高くなると防除が困難となりますので、低密度時からの防除に心がけてください。また、防除に際しては天敵への影響を十分考慮して薬剤を選定してください。

平成24年3月30日

## 高知県病害虫発生予察3月月報及び予報第1号(4月) 野菜類ダイジェスト版

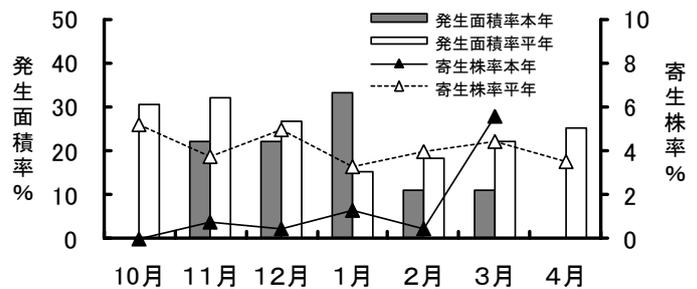
### ● 促成トマト(中央部)

#### トマト黄化葉巻病(TYLCV) 発生量: やや少



トマト(促成栽培)における黄化葉巻病の発生推移

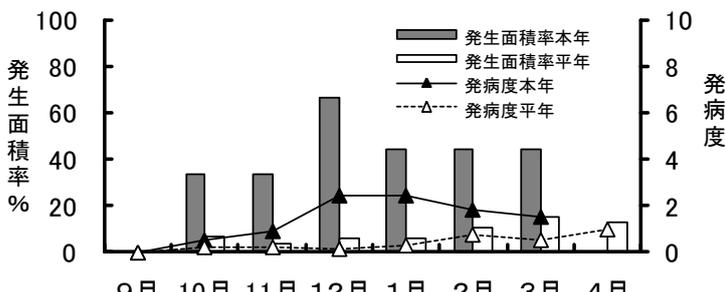
#### タバココナジラミ 発生量: 少



トマト(促成栽培)におけるタバココナジラミの発生推移

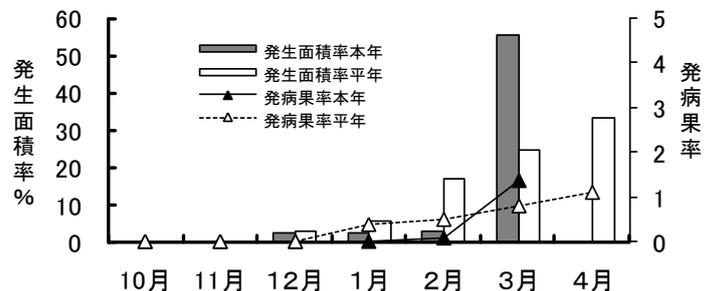
黄化葉巻病の発生面積は平年に比べやや少なく、発病株率も低く推移しています。媒介虫のタバココナジラミの発生面積も少なくなっていますが、一部ほ場で程度の高い発生が見られました。施設内での増殖や媒介虫の飛び込みに注意を払ってください。併せて、既発ほ場では新たな発病株の早期除去に努めましょう。

#### すすかび病 発生量: 多



トマト(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

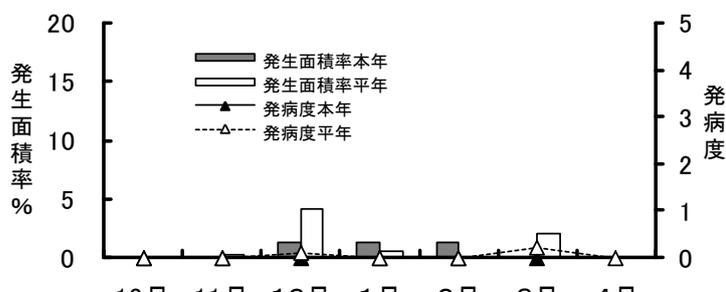
#### 灰色かび病 発生量: 多



トマト(促成栽培)における灰色かび病の発生推移

すすかび病、灰色かび病は平年に比べ多発生となっています。特に灰色かび病の被害は3月に入り、急激に広がっています。ほ場によっては茎への被害も深刻でしたので、ハウス内が多湿条件にならないよう、換気を十分にいき、適正な温湿度管理に留意してください。

#### 疫病 発生量: 少



トマト(促成栽培)における疫病の発生推移

疫病は、平年に比べ少発生となっています。向こう1ヶ月予報では、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多いと見込まれますが、本病害は高温多湿条件で発生しやすいことから、適正な温湿度管理に留意してください。